受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(1囲)		+)	以20 牛皮争/	労争未計価ン	事未計画ソート						<u> </u>			
事務事業	□サービス部	***教育	-32		教育情報事業									
No./名 称	■支 援 部	門			3 A T NT 11 11 AV									
主管課	教育センター	_		関連課	関連課									
分野名	学校教育													
目標	教育現場のニーズに対して、教育情報の収集・提供を行うとともに、小・中学校の理科及び社会科学習の副読本を発刊											本を発刊		
(目標値)	し、教育活動を支援する。													
人口等の	データ区分		24年度	2	23年度			22年度			備 考			
データ	人口		77,224人		177,204人			177,161人			4月1日			
	世帯数	79),669世帯	79,	217世帯			78,812世帯	į.	(住民	基本台帳)		
	事業の対象者数													
運営資源	決算値(千円)		3,913		2,834		2,917							
状 況	(国・県)		F.4.1											
	(負担金等)		541 3.372		2 0 2 4		2.917							
	(一般財源) 人員配置数		1.0		2,834 1.0			1.0						
	人 件 費(千円)		8.198		8.967		9.198							
	協働の	,			0,307			0,100			1			
	パートナー													
事務事業	総事業費(千円)		12,111	1	11,801			12,115						
運営経費	市民1人当		68		67			68						
	りの経費(円)		08											
	対象者1人													
	当りの経費(円)													
ベンチマーク	団体名⇒													
(県内外自治体														
や民間団体と の比較値)														
指 標		評価	年度	21年度	22	年度		23年度	244	年度	最終年	度(27年度)		
副読本等資料出版費抑制		目標値		7935千円	円 5153千円		4223千円		4223千円		42	223千円		
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		9	実績値		2917千円		2	2834千円 38		43千円				
評価のポイント														
== /# o # F	①効率性	事業費や人	人件費に削減余は	也はないか。	いか。 ②妥当			事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的 な根拠や公的関与の妥当性はあるか。						

事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した 場合影響があるか。 ③有効性

評価の視点

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)											
小事業名	H24決算値	評価	適切=〇、	要改善=△(評	価の視点を参照)	⇒	方向性		€•拡大 B:₹ 含縮小 E:廃		∷改善・見直し
	3,913千円	①効率性	〇 ②妥当性	〇 ③有効性	〇 ④公平性 〇	⇒	■A	□В	□C	□D	□E
教育情報事業	事業の概要	小・中学校 料の収集・		と中学校理科副	副読本の印刷製本	た、「かる	まくら子ど	も風土記	己」販売と書	店への販売	委託、教育資
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□А	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□A	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										
	•	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒	□А	□В	□C	□D	□E
	事業の概要										

④公平性

事務事業の課題及び取組状況

于初于木 7 杯 经 7	CO PARTE PROF		
H24年度の課題	小・中学校社会科副読本と中学校理科副読本の印刷製本、「かまくら子ども風土記」販売と書店への販売委託、教育	資料の収集・提供	
	「かまくら子ども風土記」の販売促進のため、チラシを作成し、市庁舎等で配布した。[平成24年度の販売数:329冊] 教育資料のデータベース化に向けた資料の整理及びデータベースの基礎資料の作成作業を進めた。また、研修記 録のDVDを作成し、希望学校へ提供した。	取組の結果	□解 決 ■未解決
未解決の課題	「かまくら子ども風土記」残部約1800冊の販売。教育資料のデータベース化。		

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	週切一〇		A:充実·拡大 B:現状継続C:改善·見直LD:統合縮小 E:月	·休止	※□事業完了				
	要改善=△ (評価の視点 を参照)	②妥当性	0	今後の	小・中学校社会科副読本と中学校理科副読本は、各学校	1	課長等名		
	世事業の計画		③有効性	0	方向性	において授業等で有効に活用されており、引き続き作成していく。「かまくら子ども風土記」の販売促進に更に努力する。教育資料データベース化できるだけ早く完了する。	В	教育センター所長	
			④公平性	0				越川雅之	

(2面) 個別事業の評価 (単位:千円)

(2回) 個別事業の評価						(単位: 千円)				
.1. = * 7		1° // ¬- 1°	四四本 米 5	0.45		評価⇒適切=	=〇、要改善=	△(1面の評価の	D視点を参照)	
小事業名		ザイムスコード	個別事業名	24年度予算	24年度決算値	①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
			小·中学校社会科、中学校理科副読本印刷製本費	3,844	3,843	0	0	0	0	
		1,070	「かまくら子ども風土記」販売委託料	200	70	0	0	0	0	
	÷									
	な個									
教育情報事業	主な個別事									
	争業									
	主									
	は個									
	主な個別事業									
	業									
	主な個別事業									
	個別									
	事業									
	主									
	主な個別事業									
	別事									
	業									
	÷									
	主な個別事業									
	別									
	事業									